

## 第2回岩倉市子ども・子育て支援事業計画策定委員会 議事概要

日 時：平成26年2月4日（火）午後2時～4時

場 所：岩倉市役所 第1委員会室

出席者：委員8名、事務局7名

欠席者：委員2名

### 1. 開会

委 員 長	<ul style="list-style-type: none"><li>・アンケート結果を見るときなるほどと思うところもあります。</li><li>・このデータの報告を見ながら、今後の5年間の計画について考えていただく会にしたいと思います。</li></ul>
-------	--

事務局より資料の確認

### 2. 岩倉市子ども・子育て支援に関する調査結果【速報版】の報告

資料「岩倉市子ども・子育て支援に関する調査結果【速報版】」に基づいて、事務局が説明

### 3. 岩倉市の子ども・子育てに関するデータの報告

資料「岩倉市の子ども・子育てに関するデータの報告」に基づいて、事務局が説明

### 4. 意見交換

委 員 長	・資料の説明していただきましたが質問はないですか。
委 員	・報告書P32「利用したい保育園と利用している保育園の差」とありますが、これはどういう意味ですか。
事 務 局	・実際に行っている保育園と行きたい保育園の齟齬をみています。数%～2割ぐらゐの差があります。
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"><li>・アンケート調査の中で、「実際に利用している園」と「利用したい保育園」を聞いているためその結果をもとに算出したものです。</li><li>・保育園の場合は第一希望がすべて通っているわけではないので、このような結果が出ていると思います。</li></ul>
委 員	・育休のデータはありますか。
委 員 長	・育休は報告書P68にあります。
委 員	・報告書P21の「未就労の母親の就労意向」と報告書P68の「未就労の母親の育休」とは関係ないということですか。
事 務 局	・「未就労の母親で育休」ということはありえません。報告書P68では「働いていなかった」に含まれています。

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・また、男性の育休について1.3%、18人いますが、ほとんどが短期間です。</li> </ul>
委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園を利用したいのに利用できない人はどこをみればわかりますか。</li> </ul>
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告書 P45 をご覧いただきたいと思います。「利用したいのに、教育・保育の事業に空きがない」などと回答している人がそれにあたります。</li> <li>・「保育園を利用していない理由」の大半は「子どもが小さいため」が多くなっています。</li> <li>・岩倉市では、4月には一定入園ができていますが、年度が始まってから徐々に入園希望者が多くなっていきます。それで「利用ができなかった」ということではないかと想像します。</li> </ul>
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園でいえば保育に欠けるという要件が入ってくるため、その要件と利用希望の兼ね合いもあります。</li> </ul>

資料『「次世代育成支援行動計画」と「子ども・子育て支援事業計画」』に基づいて、事務局が説明

委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国は、幼稚園と保育園を一体的なものにしていこうと思っているのですか。</li> </ul>
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国は、幼保連携型の子ども園化を進めていきたいという流れがあります。</li> </ul>
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート結果報告については意見がないかもしれませんが、先ほど説明したような内容を計画に取りまとめていくことになるため、現状の園生活への意見や施策への意見があれば伺いたいと思いますが、いかがですか。</li> </ul>
委 員 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼保の話は、新聞で少し拝見するだけで一部だけだとよく分かりません。</li> </ul>
委 員 長 職 務 代 理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てに専念したいという人もいて、いろいろなニーズがあるということが分かりました。それに応えてくださるのが認定こども園になっていくと思います。</li> <li>・子育てに専念している母親にしてみれば、子ども園に期待していることもあると思います。現時点では切羽詰っていないなくても、いざ必要になった場合に子どもを預けられるかどうか心配だと思います。子ども園が普及してくると心配がなくなると思います。</li> <li>・よく分からないことも多いですが、多種多様なニーズに応えていただけるという期待もあります。お母さんたちの望んでいる意見をこの会議で聞けるとよいと思います。</li> </ul>
委 員 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度改正でいろいろあるので賛否両論あると思います。</li> </ul>
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報告書 P 55 に「幼稚園を利用している場合、長期休暇中も保育を利用したい」というニーズが多くなっています。これに対して幼稚園側はどのように対策されていますか。</li> </ul>
委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曾野第二幼稚園は夏休み期間に預かりを実施しています。</li> <li>・保育園を始めて実感していますが、保育園はお盆休みもないですが、曾野第二幼稚園は5日間休んでいます。</li> </ul>
委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩倉幼稚園はお盆を休んでいます。やって欲しいという希望はありますが、無認可を紹介したりして対応しているので無認可保育園に行く方もいます。</li> <li>・夏休みは午前8時から午後3時半まで実施しています。ニーズがあれば午後5</li> </ul>

	<p>時までの預かりもやった方が良くと思いますが、今は、1、2人ぐらいであまり要望は聞かれませんが。</p>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休みは、本来は1か月ぐらいということですか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園は、本来は小学校の夏休みと同じです。</li> <li>預かりは子育て支援事業と位置づけて、県の補助を受けて実施しています。長期休暇、夏休みを実施すると多少の補助が出ます。</li> <li>人数は夏休みで100人ぐらいです。水遊びに来て帰る子もいればお昼前に帰る子もおり、いろいろです。外遊びがメインです。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>人数でみるとたいしたことがなくても、保育時間や祝日保育などは家庭によっては深刻な問題の場合もあります。</li> <li>土日休み以外の仕事についている人にとっては日常の保育と変わりません。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>休日保育については岩倉市の保育園は実施しています。事前の申し込みは必要ですが、定員は10人で実質1、2人の利用となっています。休日保育も制度の中で変わっていくと聞いています。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの庭保育園は、送迎は保育園側がするのですか、保護者側がするのですか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの庭保育園は対象が0から2歳のみで、保護者が送迎されています。</li> <li>去年は子どもの庭保育園に通っていた子どものうち1人が曾野第二幼稚園に入園しました。今年意向を尋ねたところ8人が曾野第二幼稚園に入園する予定となっています。その場合は3歳になったら歩いて通うことになります。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>膨大な調査資料であるため、すぐに意見をもらうのは難しいと思いますが、他にいかがですか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>保育園は、保育に欠けていないと在籍できません。第二子や第三子ができた場合に保育園をやめないといけません。卒園までに数か月以上ある場合は仕方がないかもしれませんが、例えば、3月卒園なのに1月に出産であるために退園しなければならないというケースがあります。新制度はどうなるのかわかりませんが、子どもたちのことを考えると通わせてあげたいと思います。</li> <li>介護をしなければならない人や求職中の方で保育園を利用したいのに子どもを預けられない場合があります。新制度になるとどうなるのですか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、国の子ども・子育て会議の中で議論されています。新制度では「保育に欠ける」から「保育が必要な」という表現になりますが、それに該当することになります。</li> <li>就学前直前に退園しなければならない場合や、兄弟や祖父母の介護が必要な場合、求職中の方も預けられるように、認めていこうという流れになっています。期間をどうするかなどは今後の検討課題となっています。</li> <li>子どもが虐待の場合で、保育園が保育したほうが良い場合なども、「保育が必要」ということで対応していこうということが、子ども・子育て会議でも話されています。</li> <li>これがどのように奨励され、市としてどのような規定をつくるかはこれからです。</li> </ul>

委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのようになった場合、優先順位として、介護や求職中の人は就労している人よりも低くなるということはないですか。</li> </ul>
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の必要性和時間（標準時間と短時間）、状況による優先度等を数値化して、配慮していくことになると思います。</li> <li>・ただ、定員の空きがない場合もありますが、空きがあれば、子どもを持つ家庭の支援ができればと考えています。</li> <li>・現状でも実施していますが、今後、明文化されてくると思います。</li> </ul>
委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園に入らないから仕事に行けないという人もいます。例えば求職中の方たちに1、2か月だけでも優先度を上げるとか考えていますか。</li> </ul>
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今おっしゃられたような理由は今でも保育園に入れます。しかし、受け皿がないという大きな課題があります。制度が変わっても、受け皿がない場合は入れないという状況は生まれます。</li> <li>・新制度で適応範囲を広げることは実施していきませんが、受け入れられるようになって受け皿がなければ受け入れられません。受け皿をどう広げるかが大きな課題です。</li> </ul>
委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状では足りていないため、ニーズに対応しようとすると受け皿を増やしていくしかない状況です。</li> </ul>
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート結果については今後精査していくため、計画策定の中で、どれぐらいのニーズ量があり、充足するためにどれぐらいの供給が必要かを議論していくこととなります。</li> <li>・計画には5年間でどれぐらい増やしていけるかを記載していきます。</li> <li>・量をどのように確保するかということは、今後、具体的な課題になっていきます。</li> </ul>
委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こうしたことは慣れていなくて、よくわかりません。</li> </ul>
委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「病児・病後児保育」とありますが、具体的にどのような事業か教えてください。</li> </ul>
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市が委託しているもので、子どもが病気で、保育園などで預かってもらえない時に利用できる保育です。</li> <li>・病気の時ぐらいは自分で見てあげたいという意向もありますが、計画の中では、調査結果からニーズ量を算出していきます。</li> </ul>
委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象は就学前児童のみですか。</li> </ul>
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校3年生までが対象です。</li> </ul>
委 員 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病児保育は流行性の疾患、例えばインフルエンザも対象となりますか。</li> </ul>
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お医者さんであるため、重病でなければ大丈夫です。</li> <li>・年間で考えると量は足りていますが、インフルエンザなどが流行するとキャパシティ的に入れないこともあります。</li> <li>・市が委託している事業の定員は2名ですが、病院としては4名まで受け入れることが可能です。</li> </ul>
委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・核家族化で親と子ども、母子父子家庭の場合など、子どもが病気になったら長時間学校で待つこともあります。今日もそのような言葉があったので質問させ</li> </ul>

	ていただきました。
委員長 職務代理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園と保育園が一元化されていくということですが、岩倉市には公立の幼稚園がないので、幼稚園に保育の機能を持たせるとなると、民間の私立幼稚園にお願いしなければいけない状況だと思います。</li> <li>・保育園に幼稚園の機能が必要なのかなと疑問に思いました。そのニーズはないように思うがどうでしょうか。預ける側の母親の気持ちでいうと、保育園が認定こども園になる必要はないのではないかな、という意味合いの意見です。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今は働いていないので必然的に幼稚園に入れてもらっています。</li> <li>・働いているお母さんは保育園に入れていると思います。根本的に考え方が違うということは感じるがあります。</li> <li>・教育・保育内容まで統一するのは難しいと思いますが、新しい制度でどちらの園も良い意味で変われたら良いと思います。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度として、国は、幼保連携型の認定こども園化を進めようとしています、施設として「幼稚園」、「保育園」は残ることができます。</li> <li>・3歳以上と3歳未満で保育の必要性を認定して、市が一元的に、保護者の利用意向を受け付けて、保育事業に対応していくことになります。</li> <li>・保育園は保育園として、幼稚園は幼稚園としてやっていくこともできますし、認定こども園になることもできます。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制度の問題なので難しいです。保育園も保育内容としてはお絵かきや音楽など教育的なこともしています。ただ、今の保育内容でいいかという色々な問題がないわけではないです。</li> <li>・幼稚園に預けている中で本当はもっと長時間預けたい、ということはありませんか。</li> </ul>
委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園でも短時間だが働いている人は多いので、幼稚園も午後5時までは対応してくれています。それで賄えているので問題はないと思います。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公立幼稚園がないので、私立幼稚園が認定こども園に今後どうなっていくのかということだと思います。</li> </ul>

## 5. その他

事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回は3月26日 午後2時から開催させていただきます。</li> <li>・潜在的ニーズ、必要量的なことを検討させていただきます。</li> </ul>
-----	--